



お知らせ

子ども

一般奨学生と交通遺児奨学生を募集

▽貸付額 左の表の通り。
▽対象 4月に、左の表の学校に入学予定または在学中で、次の要件を満たす人。
①一般奨学生Ⅱ市内に住民登録のある人の被扶養者で、市税の滞納がない確実な連

貸付額(月額)	
▽高等学校・高等専門学校 ▽中等教育学校(修業年限が2年以上)	自宅通学 1万7,000円 自宅外通学 1万8,000円 交通遺児 3万円
▽短期大学・大学(修業年限が2年以上)	自宅通学 3万5,000円 自宅外通学 4万5,000円 交通遺児 5万円

帯保証人を2人付けられる
②交通遺児奨学生Ⅱ保護者が交通事故で死亡、または負傷して働けなくなった家庭の被扶養者。
▽返還 最終学校を卒業した翌年4月から、一般奨学生は借用期間の4倍、交通遺児奨学生は5倍の期間内に、年賦・半年賦・月賦の方法を選択。
▽選考 所得状況や学業成績などを審査。
▽申込 教育企画課(市役所13階)、各(区)・(市)に置いてある申請書に在学(新入生は出身学校)の推薦調査などの必要書類を添えて、平成28年1月29日までに、直接または送付で、〒320-8540 市役所教育企画課(632)2705へ。採用決定時には、連帯保証人の市税完納証明書と印鑑登録証明書が必要です。

平成27年度入学通知書を発送しました

4月から、市立小・中学校に入学する子どもがいる家庭に、1月末に「入学通知書」を送付しました。対象は、小学校が平成20年4

不妊治療費助成制度

不妊治療を受ける夫婦の経済的負担を軽減するために、不妊治療費の一部を助成しています。

1 特定不妊治療(体外受精・顕微授精)

▽助成額 1回の治療に付き治療費が15万円以下のときは、全額。15万円を超えたときは、超えた額の2分の1を15万円に加算した額(上限25万円)。凍結胚移植などについては、1回の治療に付き治療費が7万5,000円以下のときは、全額。7万5,000円を超えたときは、超えた額の2分の1を7万5,000円に加算した額(上限17万5,000円)。
▽助成期間・回数 前住所地で受けた助成期間を含む、通算5年度。初年度=年度内3回、2年度以降=年度内2回で合計10回を超えない。ただし、平成26年度初めて助成を受ける40歳未満のみ通算6回、通算年度・年度内回数制限なし。

2 人工授精治療
▽助成額 1年度に要した治療費(合計額)の2分の1(上限3万2,000円)。
▽助成期間・回数 通算2年度。年度内1回まで。
■対象者 市内に住所を有する戸籍上の夫婦で、夫婦合算の所得が730万円未満。1 指定医療機関で受診した人 2 市税の滞納がない人。
■対象条件 今年度は、平成26年4月1日~平成27年3月31日に終了した治療。詳しくは、子ども家庭課へお問い合わせください。
■申込 3月31日までに、必要書類をお持ちの上、直接、子ども家庭課(市役所2階)、保健と福祉の相談(市役所1階)、各(区)、平石・富屋・姿川(区)へ。
☎子ども家庭課(632)2296

月2日~平成21年4月1日生まれ、中学校が平成14年4月2日~平成15年4月1日生まれの子どもです。

4 上、直接、学校管理課へ。
☎学校管理課(632)272

4 保護者。
☎学校管理課(632)272

市内に避難しているご家庭で平成27年度に入学する子どもの就学相談

入学する学校は住所地により指定しており、原則変更できませんが、特別な理由により、変更が許可される場合がありますので、入学通知書の裏面に書いてある指定校変更許可基準をご覧の上、学校管理課(市役所13階)へご相談ください。

東日本大震災と、それに伴う原発事故の影響により、住民票を異動せず市内に避難している家庭で、平成27年度に小・中学校へ入学する子どもの就学相談を受け付けています。

▽対象 市内の学校へ入学を希望し、平成27年度に小・中学1年生となる子どもの

二種混合予防接種はお済みですか

ジフテリアはジフテリア菌の飛沫感染で起こります。現在の日本では、乳幼児期に受けた三種混合(および二種混合)予防接種の効果によって、発病者はほとんど見られませんが、接種率が低下するとジフテリアが流行する危険性があります。破傷風は土の中の破傷風

本文中に記載がないものは、原則として、対象どなたでも、費用は無料、申込不要。
[区] 地区市民センター、[出] 出張所、[選] 生涯学習センター、[参] うつのみや表参道スクエア、[HP] ホームページ、[E] Eメールアドレス、[域] 地域自治センター、[活] 市民活動センター

◎ベビーマッサージ体験会 ▽日時 2月26日(木)午前10時~11時30分 ▽会場 青少年活動センター(今泉町) ▽内容 赤ちゃんに触れ合い、生命の尊さを実感する ▽対象 市内在住の平成26年8月30日~12月28日生まれの子どもとその母親 ▽定員 先着15組 ▽費用 1,200円(材料代・資料代) ▽申込 2月12日午後2時から、電話で、青少年活動センター☎(663)3155へ。

3月のママパパ学級

- ▽期日・内容など 下の表の通り。
- ▽時間 午前9時30分～正午。午前9時15分から受け付け。
- ▽申込 2月2日から、電話で、各申込先へ。
- ▽その他 市保健センターには無料駐車場はありません。

コース	内容・対象	期日	会場・申込先	定員
妊娠・出産コース	「妊娠中の心と体の変化」「妊娠中の食生活」「妊娠中の疑似体験」他	7日(土)	姿川区(西川田町) ☎(645)4535	先着25組
	妊娠6～9カ月の妊婦とその夫	14日(土)	市保健センター(ララスクエア宇都宮9階) 申込先は、保健と福祉の相談 ☎(632)2941	先着30組
子育てコース	「産後の心と体の変化」「赤ちゃんとのお風呂」「おっぱいのお手入れ」他	6日(金)	市保健センター ☎(627)6666	先着15組
	妊娠7～9カ月の妊婦とその夫	15日(日)		先着30組
		22日(日)		

菌が体内に入ることによって感染します。本人が気付かない程度の軽いかすり傷や刺し傷が原因で、感染することもありますので予防接種を受けましょう。

▽接種方法 医療機関における個別接種。

▽接種回数 1回。

▽対象 市内に住民登録のある、11・12歳(13歳の誕生日の前日まで)。

▽費用 無料。対象年齢を過ぎた場合は有料。

▽持ち物 母子健康手帳、予防接種受診者証(11歳の)

誕生日を迎えた子どもに随時発行)。

●保健予防課 ☎(626)1114

適応支援教室(不登校) ボランティア募集

▽活動場所 ①まちかどの学校(西川田町) ②つげの木教室(下田原町)。

▽活動内容 不登校の小・中学生への支援。①学習指導、運動・調理・将棋・釣り・野菜作り・創作活動など(個別・小集団)。②学習指導、運動・体験活動など(小集

教室・講座

3月の離乳食教室 参加者募集

▽日時 ①3月6日②3月10日③3月20日、午前10時～11時45分。午前9時45分から受け付け。

▽会場 ①河内保健センター(白沢町) ②③市保健センター。

▽内容 栄養士と保健師による講話と離乳食の試食、保育士による親子の触れ合い遊び。

▽対象 これから離乳食を始めるおおむね4～6カ月児とその保護者。初めて受講する人を優先。

▽対象 20歳以上で、一人ひとりの子どもに応じて、温かく柔軟に関われる人。経験不問。事前に研修を受講。

▽申込 3月6日までに、電話で、まちかどの学校 ☎(684)0899、つげの木教室 ☎(672)3110へ。詳しくは、市教育センター ☎ ☎: /www.uets.ed.jp をご覧ください。

親子で挑戦 野鳥の巣箱を作ってみよう

▽定員 各先着20組。

▽申込 2月2日から、電話で、①河内保健センター ☎(673)6337 ②③保健と福祉の相談 ☎(632)2941へ。

▽日時 2月14日(土) 午前9時～11時30分。

▽会場 うつのみや遺跡の広場(上欠町・聖山公園内)。

▽内容 野鳥の解説と巣箱作り。

▽対象 小・中学生とその保護者。

▽定員 先着20人。

▽費用 1セット500円(材料費)。

▽申込 2月3～8日の午後1時～4時に、電話またはファクス(住所・氏名・電話番号を明記)で、うつのみや遺跡の広場 ☎・FAX(659)0193へ。

ログハウス型 貯金箱を作ろう

しいアジア料理を学び、親子で作る楽しさを体験する。

▽対象 市内在住の小中学生以上の親子。

▽定員 抽選10組。

▽費用 800円(1組の材料費)。

▽申込 2月6日(消印有効)までに、直接またははがき(住所・親と子の氏名・ふりがな・年齢・電話番号を明記)で、〒321-0107 江曾島2丁目4-23、南 ☎(645)0006へ。

親子で作る アジア料理講座

▽日時 2月22日(日) 午前10時～正午。

▽会場 南園。

▽内容 家庭で作るのが難

▽日時 2月21日(土) 午前10時～午後3時30分。

▽会場 宇都宮工業高等学校。集合場所は南図書館(雀宮町)。

▽内容 宇都宮工業高等学校の生徒と一緒に木製の貯金箱を作る。校内見学あり。

▽対象 小学4年生～中学3年生。

▽定員 先着20人。

▽費用 500円(材料費)。

▽申込 2月3日午前9時30分から、直接または電話で、南図書館 ☎(653)7609へ。

◎日常にすぐ生かせる産後セルフケア体験 ▽日時 2月12日(木) 午前10時～11時30分 ▽会場 青少年活動センター ▽内容 バランスボールを使った産後の骨盤にやさしい有酸素運動、コミュニケーションワーク、セルフケアの実習など ▽対象 市内在住の平成26年8月16日～12月14日生まれた子どもとその母親 ▽定員 先着12組 ▽費用 1,000円(用具代) ▽申込 2月5日午後2時から、電話で、青少年活動センター ☎(663)3155へ。

3月の乳幼児健康診査

各健康診査とも、対象の子どもにお知らせを送付します。対象月の月末になってもお知らせが届かない場合は、ご連絡ください。

■ 4カ月児・10カ月児の乳児健康診査

▽受診方法 生後2カ月、9カ月時に送付するお知らせをご覧くださいの上、指定の医療機関で受診してください。

■ 2歳5カ月児の歯科健康診査

受付時間：午後1時～2時30分

期 日	会 場	対 象
5日(木)・6日(金) ・12日(木)・19日(木)・20日(金)	市保健センター(ラスクエア宇都宮9階)。無料駐車場はありません	平成24年10月生まれ

▽受診方法 2歳3カ月になる月の上旬に送付するお知らせをご覧くださいの上、当日会場へ。

■ 1歳6カ月児・3歳児の幼児健康診査

受付時間：午後1時～2時30分

健康診査名	1歳6カ月児	3歳児			
対 象	平成25年8月生まれ	平成24年2月生まれ			
会 場	3 月	3 月	保健所(竹林町)	6日(金)	12日(木)
				13日(金)	20日(金)
			市保健センター	3日(火)	17日(火)
			平石区	5日(木)	19日(木)
			横川区	12日(木)	10日(火)
			城山区	19日(木)	13日(金)
			姿川区	20日(金)	5日(木)
			南図書館	4日(水)	18日(水)
			河内保健センター	11日(水)	4日(水)
			上河内保健センター	10日(火)	

▽受診方法 1歳6カ月、3歳0カ月になる月の上旬に送付するお知らせをご覧くださいの上、当日会場へ。

▽持ち物 母子健康手帳。

☎子ども家庭課 ☎(632)2388

子どもの定期予防接種

市内に住民登録があり、右の表の対象年齢の範囲内であれば無料で予防接種を受けることができます。

▽ヒブ・小児用肺炎球菌は、接種開始年齢によって接種回数・間隔が異なります。詳しくは、保健予防課へお問い合わせください。

▽原則、四種混合を接種し、三種混合と不活化ポリオを接種する必要はありません。1～3回目の接種間隔は3週間以上8週間未満、4回目は3回目終了後12カ月以上18カ月未満の間隔を空けて接種します。

▽水痘は6カ月以上12カ月未満の間隔を空けて2回接種します。

▽原則、麻しん風しん混合を接種し、麻しんと風しんをそれぞれ単独で接種する必要はありません。

▽日本脳炎の1・2回目の接種間隔は1週間以上4週間未満、3回目は2回目終了後、約1年後に接種します。

▽子宮頸がん予防接種は、接種後に特異な副反応が見られることから、国の勧告に基づき、接種のお勧めを中止しています。接種を希望する人は、この現状を踏まえた上で、医療機関備え付けの副反応リーフレットをよく読んでから判断してください。

☎保健予防課 ☎(626)1114

予防接種	対象年齢 (標準的接種年齢)	2月から新たに標準的 接種年齢となる子ども	接種 回数
ヒブ	生後2カ月以上5歳未満 (生後2カ月以上7カ月未満)	平成26年12月生まれで 満2カ月になった日から	1～4
小児用 肺炎球菌	生後2カ月以上5歳未満 (生後2カ月以上7カ月未満)	平成26年12月生まれで 満2カ月になった日から	1～4
四種混合または 三種混合と ポリオ	1期 生後3カ月以上7歳6カ月未満 (生後3カ月以上12カ月未満)	平成26年11月生まれで 満3カ月になった日から	4
二種混合	2期 11歳以上13歳未満 (11歳)	平成16年2月生まれで 誕生日から	1
BCG	1歳未満 (生後5カ月以上8カ月未満)	平成26年9月生まれで 満5カ月になった日から	1
水痘	生後12カ月以上36カ月未満 (生後12カ月以上15カ月未満)	平成26年2月生まれで 誕生日から	2
麻しん 風しん混合 または 麻しんと 風しん	1期 生後12カ月以上24カ月未満	平成26年2月生まれで 誕生日から	1
	2期 小学校に入学する前の年度の4月1日から3月31日まで(年長児)。 平成20年4月2日～平成21年4月1日生まれ		1
日本脳炎	1期 生後6カ月以上7歳6カ月未満 (3歳)	平成24年2月生まれで 誕生日から	3
	2期 9歳以上13歳未満 (9歳)	平成18年2月生まれで 誕生日から	1
	特例 平成7年4月2日～平成19年4月1日生まれで、 全4回の接種が未完了の場合は、20歳未満の間		残り 回数
子宮頸がん	小学6年生から高校1年生相当までの女子 (中学1年生相当)		3

◎2月15日(第3日曜日)は「家庭の日」未来を担う宮っ子が、心身ともに健やかに成長できるよう、「ふれあいのある家庭づくり」に取り組む日です。寒い日が続く季節ですが、この季節にしかできない遊びがたくさんあります。雪の日には、家族で楽しく雪合戦や雪だるま作り、晴れの日には、家族でスキーやスノーボードに出掛けてみてはいかがでしょうか。家族で元気いっぱいに遊んで、体も心もポカポカになってみませんか。☎子ども未来課 ☎(632)2944

